

NDLラボの公開ツールを使ってみよう！

—NDL古典籍OCR-Liteや

古典籍・近代自筆資料への全文検索が広げる
資料探索の可能性—

第27回図書館総合展フォーラム

プログラム

- 13:00～ 開会あいさつ、趣旨説明
- 講演
 - TEIガイドラインを通じたOCRテキストの利便性向上
永崎研宣氏（慶應義塾大学文学部教授、一般財団法人人文情報学研究所主席研究員）
 - NDL古典籍OCR-Liteを活用した近代自筆資料の構造化と可視化
—森鷗外『拙斎年譜』を事例に—
村田祐菜氏（国立国会図書館電子情報部システム基盤課）
 - 創作現場で、何が起こっていたのか？ —自筆資料のデジタル探索—
多田蔵人氏（国文学研究資料館研究部准教授）
- （準備）
- 14:05～ ディスカッション
- 14:30 閉会あいさつ

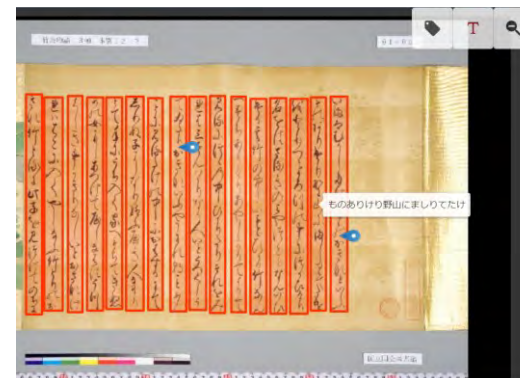
趣旨説明①

近年、国立国会図書館（NDLラボ）では

「次世代デジタルライブラリー」や「**NDLOCR**」、「**NDL古典籍OCR-Lite**」
等様々なツールを公開してきました。

我々は、皆さんが資料を活用する上で、役に立ちそうなツール・使いやすい
ツールを開発し、公開することをミッションとしています。

つまり皆さんに広く使っていただくことが重要なのですが、
資料の中身の情報に関心のある利用者の皆さんの求めているツールを、あまり
資料の中身に詳しくない技術者である我々が提供することは難しいです。



趣旨説明②

そこで今回は、我々と皆さんとの間をつなぎ、皆さんにもっとNDLラボの公開ツールを「使ってみたい」と思っていたくべく、

人文系研究における利用者の目線でこれらのツールを

- 既に取り入れて研究をしている方（村田祐菜氏）
- 使いこなした上で更にできることを模索している方（永崎研宣氏）
- これから自身の研究に取り入れていきたい方（多田蔵人氏）

のお三方にお願いをしまして、お話頂く場を設けました。

特に今回は「**NDL古典籍OCR-Lite**」や「**全文検索・全文テキストデータ**」に焦点を当ててご講演・ディスカッション頂きます。